

第二九六二號艦型

一般計画要領書

(表紙共一六枚)

圖書未歷

一、昭和  
年  
月  
日  
艦本機密決第  
号、  
二、依ル

一、重要寸法等

垂線間長

(米)

七一・〇

全長

(米)

七四・〇

吃水線長 (常備標準状態ニ於テ)

(米)

七三・五

最大幅

(米)

八・九

吃水線幅 (常備標準状態ニ於テ)

(米)

八・九

深サ

キールラインヨリ上部構造物側線迄 (中央部)

(米)

七・一五

キールラインヨリ司令塔頂板上面迄

(米)

八・七

キールラインヨリ艦橋天蓋上面迄

(米)

キールラインヨリ潜望鏡支杖上端迄

(米)

キールラインヨリバラストキール下面迄

(米)

耐压船殻直径 (被板外)

(米)

五・八

耐压船殻全長 (前後端杖ヲ含マズ)

(米)

六三・〇

安全潜航深度

(米)

一〇〇・〇

排水量(常備標準狀態)

(吨)

一九二六・一

前部吃水(常備標準狀態)

(米)

四・九〇

後部吃水(常備標準狀態)

(米)

五・二〇

平均吃水(常備標準狀態)

(米)

五・〇五

排水量(滿載標準狀態)

(吨)

一九二六・一

平均吃水(滿載標準狀態)

(米)

五・〇五

排水量(潜航狀態)

(吨)

二二三九・八

(上部構造物浮力<sup>タンク</sup>及其他非水防部ヲ含マズ)

排水量(基準狀態)

(吨)

一六九〇

(噸)

一六六〇

重油塔載量 一号重油(輕油共)

滿載標準狀態

(吨)

一四八・四

常備標準狀態

(吨)

一四八・四

航續距離

水上(一三節ニテ)

(哩)

五〇〇〇

水中(三節ニテ)

(哩)

一〇〇

二、砲煩兵裝			軸馬力		速力
(ハ) 小銃	(イ) 機銃	(イ) 迫撃砲	水上(公試全力)	水中(主電動杆全力)	水上(公試全力)
九九式	二十五耗	八糎聯裝二基	水中(主電動杆全力)		(節)
	三聯裝	二基			(節)
	一基	二基			
			一七五〇		一三・〇
			一三〇〇		六・五
三挺	七挺	四門			

(三) 彈藥數 (発)

種類	八糎迫撃砲	村銃	小銃	同空包
門分		一、〇〇〇	三〇〇	
常備標準状態	四二	七、〇〇〇	九〇〇	一、三八〇
満載標準状態 (訓練用彈藥ヲ塔載セ)	四二	七、〇〇〇	九〇〇	一、三八〇

(ホ) 水密彈藥包筒

八糎迫撃砲

二十五糎機銃

全 右

(ハ) 其、他

三、水雷兵装

(イ) 空気圧縮「ポンプ」艦本式一型改一

(ロ) 気蓄器「タンクブロー」用三号改一(四〇五立)

七発入 六個  
 二〇発入 四個  
 一〇五発入 六個

二基 一八個

HP 『海軍砲術学校』 公開史料

四 航海兵装  
(ハ) 其他

(一) 羅針儀

三式磁気羅針儀二型反映付

三式二号転輪羅針儀改三(單式)

(二) 測深儀

九九式測深儀潜水艦用

(三) 測程儀

九二式一号一型

(四) 航跡儀

九六式二型

(五) 縱舵自動操舵器

三式一型

(六) 信號兵器

噴煙信號筒

(七) 其他

九七式山川灯二型

五 光学兵装

(一) 潜望鏡

八八式八米三型改一

八八式八米四型改二

(二) 測距儀

九六式六六型

— — —  
組 組 組

— — — — — — —  
組 組 組 組 組 組 組

六 電気兵装

- (一) 望遠鏡
- (二) 其他

九七式三糖双眼望遠鏡  
六糖高角双眼望遠鏡

一三  
組組

- (一) 推進電動機

直流電動機特八型

二基

電動機  
発電機

馬力六〇 每分回轉數 二八〇  
馬力五〇KW 每分回轉數 四四〇乃至二五〇

- (四) 主蓄電池

一號蓄電池一五型

三六〇器

- (八) 二次電源

五五V 五KV A

二基

- (二) 其他

七 無線兵装

- (一) 送信装置
- (四) 受信装置

特四号送信機  
特受信機

二一  
組組

- (八) 輕便電信機

超長波受信機

一一  
組組



- (一) 方位測定裝置
- (二) 測波裝置
- (三) 昇降短波檣
- (四) 其他

長波方位測定機

電波探信裝置  
電波探知裝置

一 二  
組 組

八、音響音兵裝

- (一) 水中聽音裝置
- (二) 探信裝置

九三式水中聽音機二型乙潜水艦用  
假稱三式探信儀四型改一

一 一  
組 組

九、機關

- (一) 主機械
- (二) 軸馬力及推進軸回轉數(每分)

二三号乙八型内火機械

二  
基

種類	軸馬力	正味馬力	回轉數
公試全力	一七五〇	一八五〇	三五〇

(Ⅲ) 軸系及推進器

軸系

推進器

(Ⅱ) 補助機械

操舵裝置

縱舵

橫舵

潜舵

揚錨裝置

電動齒車式

電動油圧「フランシヤ」式

電動齒車式

電動齒車式

(Ⅰ) 乘員數(假) 本艦定員

士官

准士官

兵

其他

計

特務士官

下士官

臨時増員

六〇

二七

一

五

二

二〇

三

直径約一八〇〇米

二軸

一基

一基

一基

一基

十一 主要丸艀装置等

(1) 揚錨装置

主錨

〇.八吨

一個

主錨鎖

径 二九耗

二五〇

一條

(2) 冷却機械

二〇.〇〇〇「カロリー」

二基

(3) 揚貨機

電動「コンベヤ」式

二基

十二 輸送物件

(1) 大型通船

一隻

(2) 輸送物

艦内

艦外

(3) 輕質油

約 一〇〇吨  
約 一〇〇吨  
一五〇.九吨

名稱	狀態	常備標準狀態	滿載標準狀態	輕荷標準狀態
船殼		五九五・〇	五九五・〇	五九五・〇
鐵裝		七〇・〇	七〇・〇	七〇・〇
固定齊備品		九・〇	九・〇	九・〇
固定「バラスト」 (移動「バラスト」共)		二五二・〇	二五二・〇	二五二・〇
砲煩 (兵器 彈藥)		一六・六	一六・六	九・四
水雷 (空氣 共)		二三・九	二三・九	二二・七
航海		三一・一	三一・一	三一・一
光學		六・二	六・二	六・二
電氣		二五〇・三	二五〇・三	二五〇・三
蒸溜水		二・八	四・二	四・四
無線		一〇・二	一〇・二	一〇・二
機關		一三〇・〇	一三〇・〇	一三〇・〇
水油		六・〇	六・〇	六・〇
音響		二七・〇	二七・〇	二七・〇

HP 『海軍砲術学校』 公開史料

合計	負浮力「タンク」	餘裕	「メインタンク」内残水	其、他ノ海水	燃料補填海水	補助「タンク」	物件送輸			潤滑油	軽油 (内火村械用)	重油	一般 齊備 <small>(糧食ハ六〇名 眞水「タンク」満載量二四三噸)</small>	
							輕貨油	艦外	艦内					
一九二六・一	〇	二〇・〇	一五・〇	一六・〇	〇	二三・四	一五〇・九	一〇〇・〇	一〇〇・〇	一〇・〇	一五・九	一・三	一四七・一	三八・七
一九二六・一	〇	二〇・〇	一五・〇	一六・〇	〇	九・二	一五〇・九	一〇〇・〇	一〇〇・〇	一〇・〇	一五・九	一・三	一四七・一	五一・五
一九二六・一	一四・八	二〇・〇	一五・〇	一六・〇	一四四・三	四四・八	一五〇・九	一〇〇・〇	一〇〇・〇	一〇・〇	一・六	一・一	一四・七	一六・九

十四、復原性 舵 旋回性能 等

復原性能(水上)

名稱	狀態	常備標準狀態	滿載標準狀態	輕荷標準狀態
排水量	噸	一九二六・一	一九二六・一	一九二六・一
平均吃水	米	五・〇五	五・〇五	五・〇五
キールラインヨリ重心迄の高サ KG	米	二・九四	二・九三	二・九二
重心ヨリ横向メタセタリ迄の高サ GM	米	〇・七〇	〇・七一	〇・七〇
最大復原傾角度	度	五二・四	五二・四	五三・〇
最大復原挺	米	〇・二六	〇・二六	〇・二八
復原性範圍	度	九〇以上	九〇以上	九〇以上
水線上重心迄の高サ OG	米	一九一	一九二	一九三
豫備浮力	噸	三一三七	三一三七	三一三七
風圧側面積比		・七四	・七四	・七四

復原性能（水中）

舵

名称	排水量	重心ヨリ浮心迄ノ高サ BG	状態
常備可潜状態	一、九二一・一	・三八	
満載可潜状態	一九二一・一	・三九	
軽荷可潜状態	一九二一・一	・四一	

  

舵型式及数	下部縦舵	横舵	潜舵
半平衡舵 (一)			
平衡舵 (二)			
平衡舵 (三)			

  

舵面積積	面積積 (平方米)
六・五	
八・一	
六・〇	

  

舵面積比 (船体卜比)
四七・六
六二・六
八四・五

旋回性能

動搖周期

狀態

常備標準狀態

動搖周期(復)(秒)

五秒

旋回中、最大橫傾斜角度 (度)	旋回圈		舵速		狀態
	最大橫距		最大縱距		
	全長 ト、比	吃水線長 ト、比	全長 ト、比	吃水線長 ト、比	
(水中)	六・〇	/	三・六	/	水中(潜航)
(水上)	四・五	/	三・五	/	水上
(度)	三五・〇	一三・〇	三五・〇	一三・〇	(節)